

芦別市

地方創生に関するアンケート調査結果（単純集計編）

3. 事業所アンケート調査（67票）

◆ 配布・回収状況（2015/9/30確定）

配布数	125票
回収数	67票
回収率	53.6%

◆ 単純集計結果

- | | |
|-----------------------------|-----|
| ① 現在の事業所に関する質問（問1～8） | P1 |
| ② 事業所の状況や今後の展開に関する質問（問9～19） | P8 |
| ③ 事業環境に関する質問（問20～25） | P17 |

※ 無回答は集計対象から除外

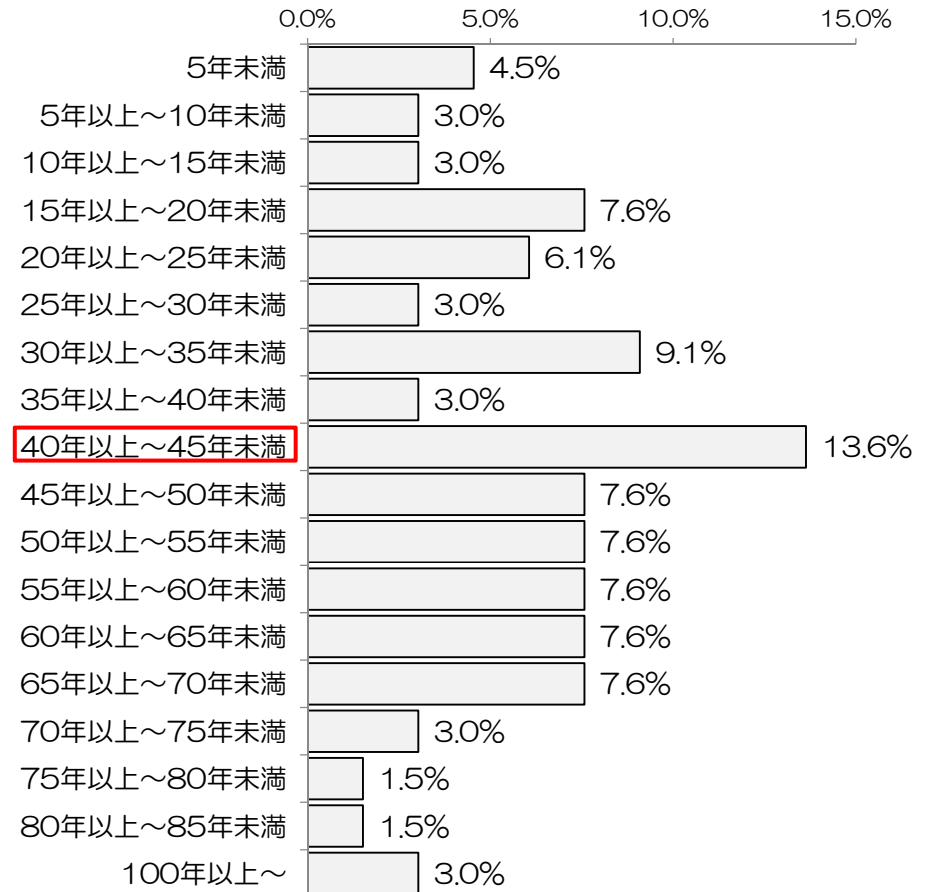
※ [SA]単数回答・[MA]複数回答・[FA]自由記述

① 現在の事業所に関する質問

【問1】 創業年 [SA]

選択肢	回答数	構成比
5年未満	3	4.5%
5年以上～10年未満	2	3.0%
10年以上～15年未満	2	3.0%
15年以上～20年未満	5	7.6%
20年以上～25年未満	4	6.1%
25年以上～30年未満	2	3.0%
30年以上～35年未満	6	9.1%
35年以上～40年未満	2	3.0%
40年以上～45年未満	9	13.6%
45年以上～50年未満	5	7.6%
50年以上～55年未満	5	7.6%
55年以上～60年未満	5	7.6%
60年以上～65年未満	5	7.6%
65年以上～70年未満	5	7.6%
70年以上～75年未満	2	3.0%
75年以上～80年未満	1	1.5%
80年以上～85年未満	1	1.5%
100年以上～	2	3.0%
合計	66	100.0%

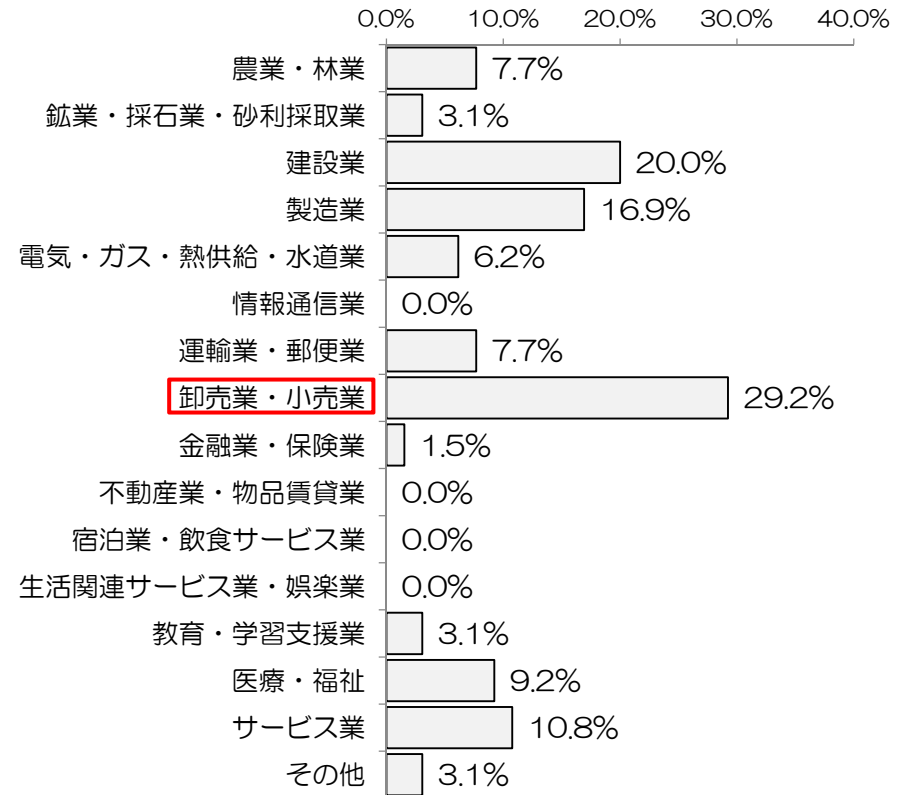
・ 40年以上～45年未満が13.6%で最も高い。



【問2】業種 [MA]

	実数	割合
農業・林業	5	7.7%
鉱業・採石業・砂利採取業	2	3.1%
建設業	13	20.0%
製造業	11	16.9%
電気・ガス・熱供給・水道業	4	6.2%
情報通信業		0.0%
運輸業・郵便業	5	7.7%
卸売業・小売業	19	29.2%
金融業・保険業	1	1.5%
不動産業・物品賃貸業		0.0%
宿泊業・飲食サービス業		0.0%
生活関連サービス業・娯楽業		0.0%
教育・学習支援業	2	3.1%
医療・福祉	6	9.2%
サービス業	7	10.8%
その他	2	3.1%
合計	77	118.5%
母数	65	

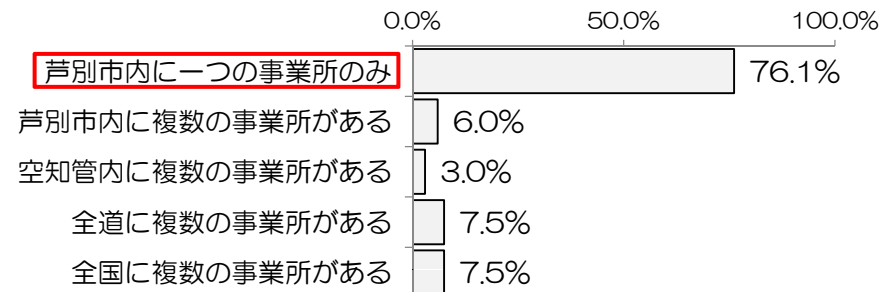
・卸売業・小売業が29.2%で最も高くなっている。



【問3】所在地 [SA]

	実数	割合
芦別市内に一つの事業所のみ	51	76.1%
芦別市内に複数の事業所がある	4	6.0%
空知管内に複数の事業所がある	2	3.0%
全道に複数の事業所がある	5	7.5%
全国に複数の事業所がある	5	7.5%
合計	67	100.0%

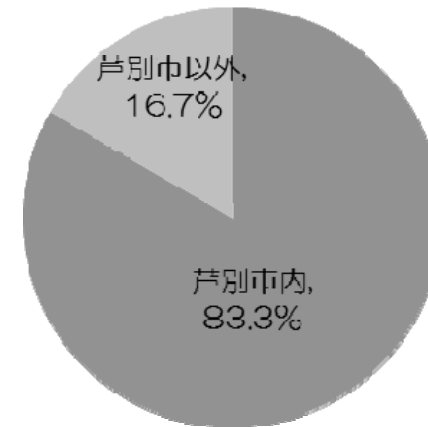
・芦別市内に一つの事業所のみが76.1%で最も高くなっている。



【問4】 本社所在地 [SA]

	実数	割合
芦別市内	55	83.3%
芦別市以外	11	16.7%
合計	66	100.0%

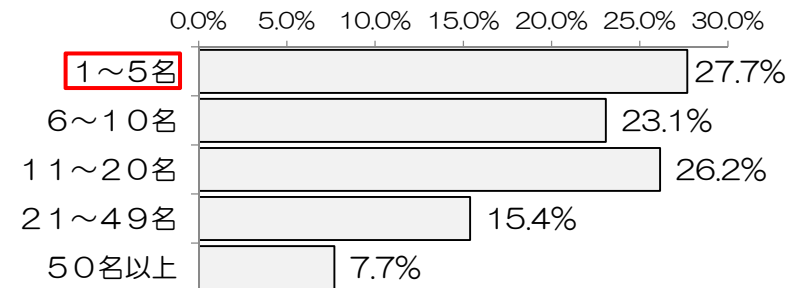
・ 芦別市内が83.3%で最も高くなっている。



【問5】 従業員数 [SA]

	実数	割合
1～5名	18	27.7%
6～10名	15	23.1%
11～20名	17	26.2%
21～49名	10	15.4%
50名以上	5	7.7%
合計	65	100.0%

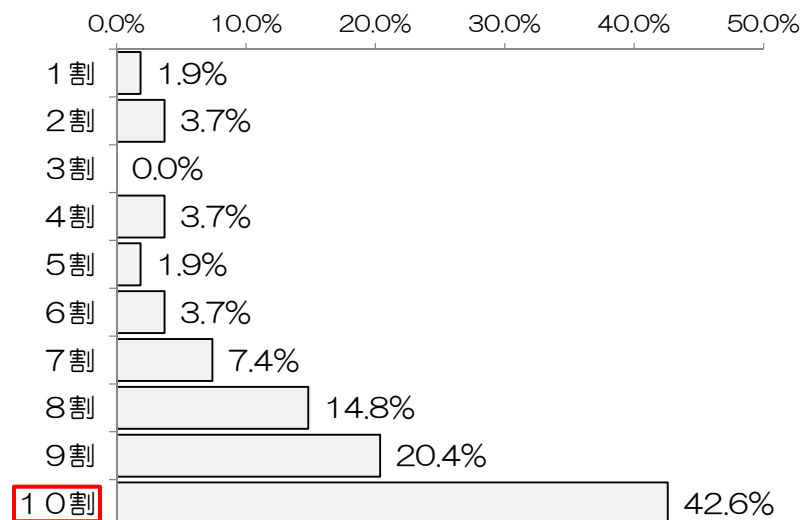
・ 1～5名が27.7%で最も高く、ついで11～20名が高くなっている。



【問5-EX】従業員の芦別市居住割合 [SA]

	実数	割合
1割	1	1.9%
2割	2	3.7%
3割		0.0%
4割	2	3.7%
5割	1	1.9%
6割	2	3.7%
7割	4	7.4%
8割	8	14.8%
9割	11	20.4%
10割	23	42.6%
合計	54	100.0%

・10割が42.6%で最も多くなっている。



【問6】従業員の平均年齢 [SA]

	実数	割合
20歳代	1	1.5%
30歳代	8	12.1%
40歳代	24	36.4%
50歳代	23	34.8%
60歳代	10	15.2%
合計	66	100.0%

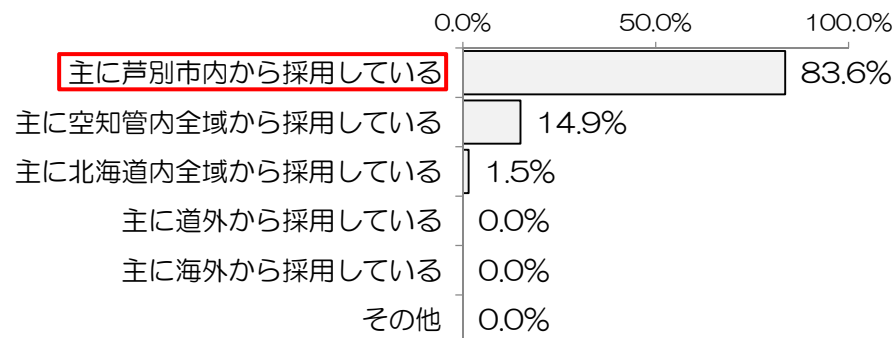
・40歳代が36.4%で最も高くなっている。



【問7】 従業員の採用地 [SA]

	実数	割合
主に芦別市内から採用している	56	83.6%
主に空知管内全域から採用している	10	14.9%
主に北海道内全域から採用している	1	1.5%
主に道外から採用している		0.0%
主に海外から採用している		0.0%
その他		0.0%
合計	67	100.0%

・主に芦別市内から採用しているが83.6%で最も多い。

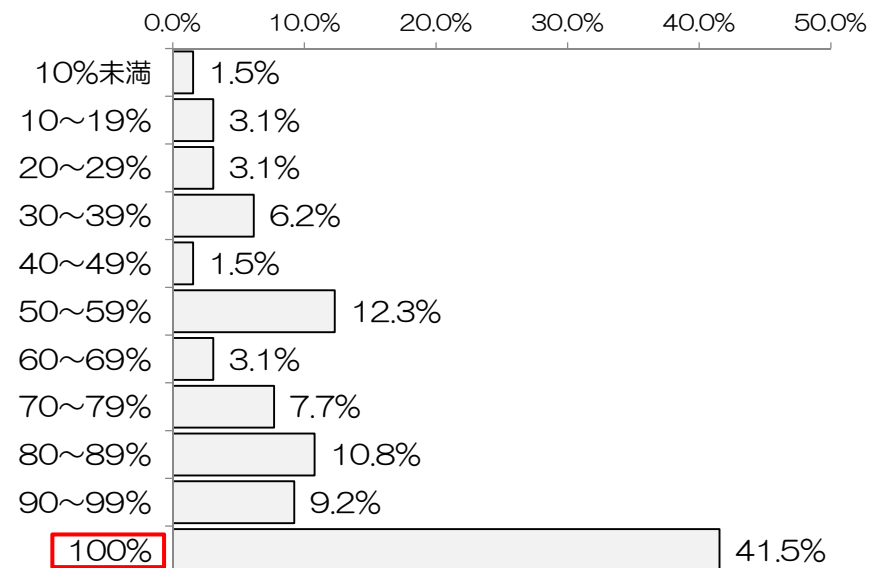


【問8】 従業員の雇用形態の割合 [SA]

① 正社員の割合

	実数	割合
10%未満	1	1.5%
10~19%	2	3.1%
20~29%	2	3.1%
30~39%	4	6.2%
40~49%	1	1.5%
50~59%	8	12.3%
60~69%	2	3.1%
70~79%	5	7.7%
80~89%	7	10.8%
90~99%	6	9.2%
100%	27	41.5%
合計	65	100.0%

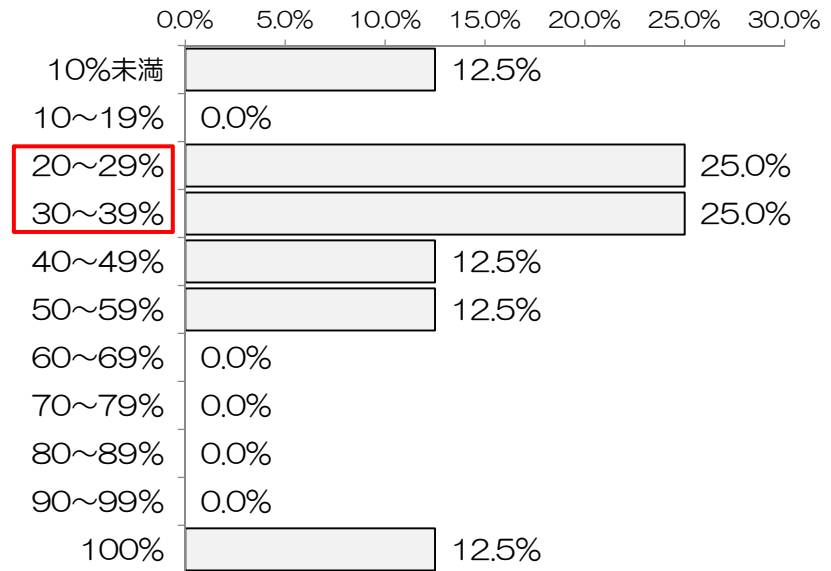
・正社員割合100%が全体の41.5%で最も多い。



②契約社員の割合

	実数	割合
10%未満	1	12.5%
10~19%		0.0%
20~29%	2	25.0%
30~39%	2	25.0%
40~49%	1	12.5%
50~59%	1	12.5%
60~69%		0.0%
70~79%		0.0%
80~89%		0.0%
90~99%		0.0%
100%	1	12.5%
合計	8	100.0%

※サンプル数極小のため、参考程度。



③派遣社員の割合

回答者なし

④日雇い派遣の割合

	実数	割合
30~39%	1	33.3%
50~59%	1	33.3%
60~69%	1	33.3%
合計	3	100.0%

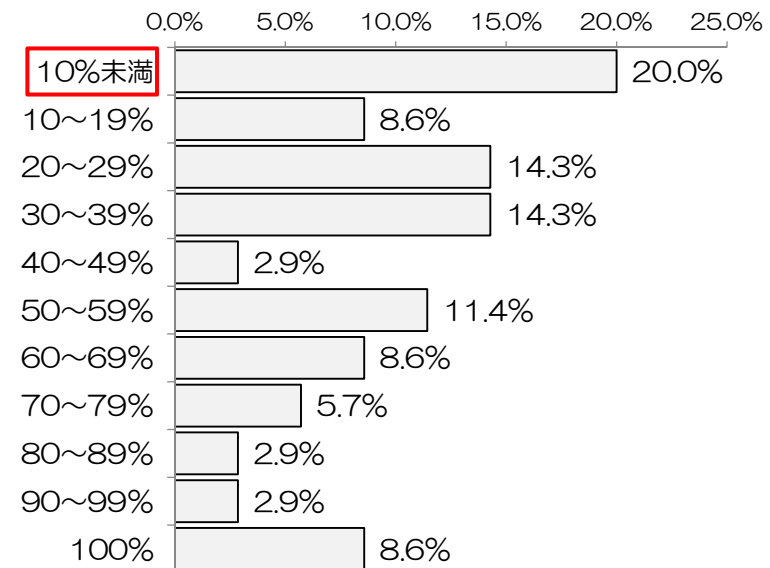
※サンプル数極小のため、参考程度。



⑤パート・アルバイトの割合

	実数	割合
10%未満	7	20.0%
10~19%	3	8.6%
20~29%	5	14.3%
30~39%	5	14.3%
40~49%	1	2.9%
50~59%	4	11.4%
60~69%	3	8.6%
70~79%	2	5.7%
80~89%	1	2.9%
90~99%	1	2.9%
100%	3	8.6%
合計	35	100.0%

・パート・アルバイト割合10%未満が全体の20.0%で最も高くなっている。

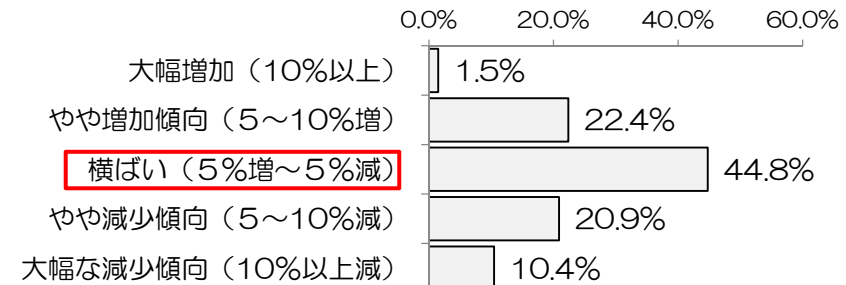


② 事業所の状況や今後の展開に関する質問

【問9】 取引高（最近3年間） [SA]

	実数	割合
大幅増加（10%以上）	1	1.5%
やや増加傾向（5～10%増）	15	22.4%
横ばい（5%増～5%減）	30	44.8%
やや減少傾向（5～10%減）	14	20.9%
大幅な減少傾向（10%以上減）	7	10.4%
合計	67	100.0%

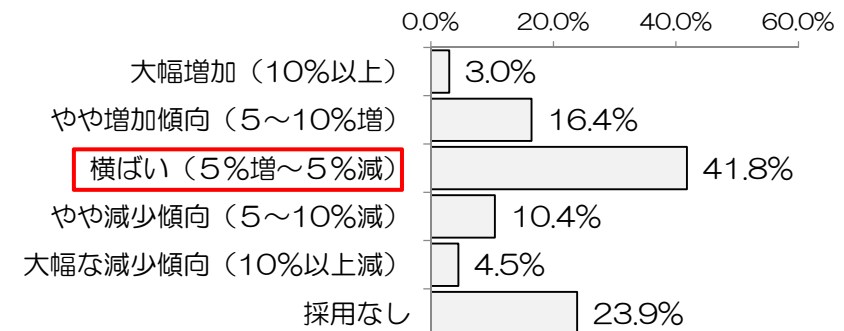
・ 横ばい（5%増～5%減）が全体の44.8%で最も多い。



【問10】 採用動向（最近3年間） [SA]

	実数	割合
大幅増加（10%以上）	2	3.0%
やや増加傾向（5～10%増）	11	16.4%
横ばい（5%増～5%減）	28	41.8%
やや減少傾向（5～10%減）	7	10.4%
大幅な減少傾向（10%以上減）	3	4.5%
採用なし	16	23.9%
合計	67	100.0%

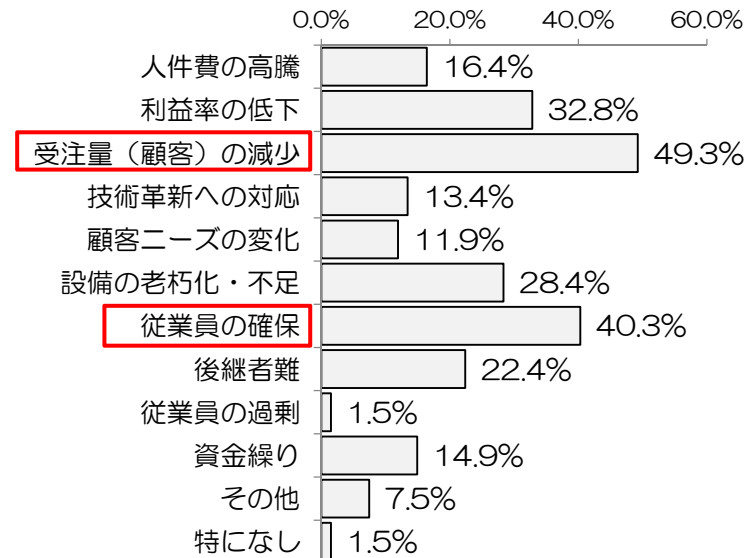
・ 横ばい（5%増～5%減）が全体の41.8%で最も多い。



【問11】 経営上の問題・課題 [MA]

	実数	割合
人件費の高騰	11	16.4%
利益率の低下	22	32.8%
受注量（顧客）の減少	33	49.3%
技術革新への対応	9	13.4%
顧客ニーズの変化	8	11.9%
設備の老朽化・不足	19	28.4%
従業員の確保	27	40.3%
後継者難	15	22.4%
従業員の過剰	1	1.5%
資金繰り	10	14.9%
その他	5	7.5%
特になし	1	1.5%
合計	161	240.3%
母数	67	

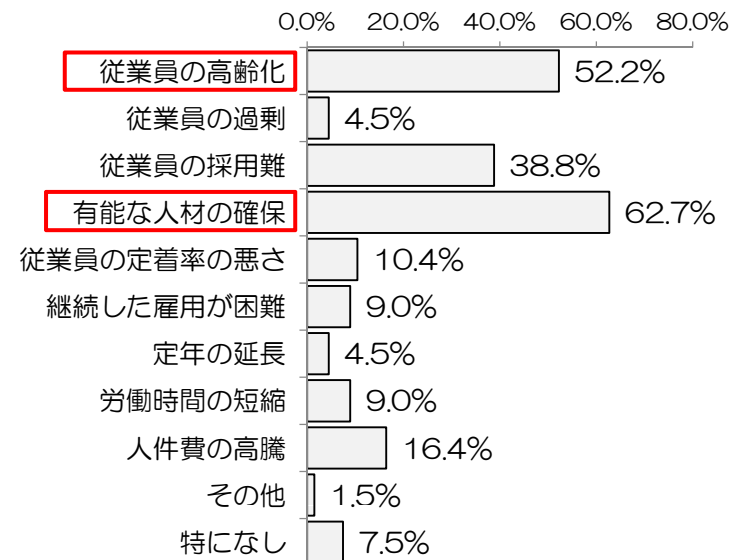
・ 受注量（顧客）の減少が49.3%で最も高く、次いで従業員の確保が高くなっている。



【問12】 雇用上の問題・課題 [MA]

	実数	割合
従業員の高齢化	35	52.2%
従業員の過剰	3	4.5%
従業員の採用難	26	38.8%
有能な人材の確保	42	62.7%
従業員の定着率の悪さ	7	10.4%
継続した雇用が困難	6	9.0%
定年の延長	3	4.5%
労働時間の短縮	6	9.0%
人件費の高騰	11	16.4%
その他	1	1.5%
特になし	5	7.5%
合計	145	216.4%
母数	67	

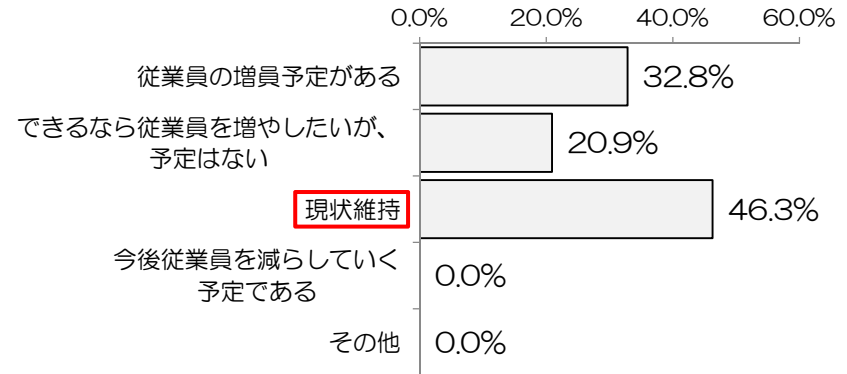
・ 有能な人材の確保が62.7%で最も高く、次いで、従業員の高齢化が高くなっている。



【問13】 従業員を増員する予定 [SA]

	実数	割合
従業員の増員予定がある	22	32.8%
できるなら従業員を増やしたいが、 予定はない	14	20.9%
現状維持	31	46.3%
今後従業員を減らしていく 予定である		0.0%
その他		0.0%
合計	67	100.0%

・現状維持が46.3%で最も高くなっている。



【問13-1】 増員予定人数の内訳 [SA](問13で「従業員増員の予定がある」を選択した方のみ回答)

	実数	割合
1人	7	35.0%
2人	11	55.0%
3人	1	5.0%
30人	1	5.0%
合計	20	100.0%

・増員予定人数2人が55.0%で最も高くなっている。



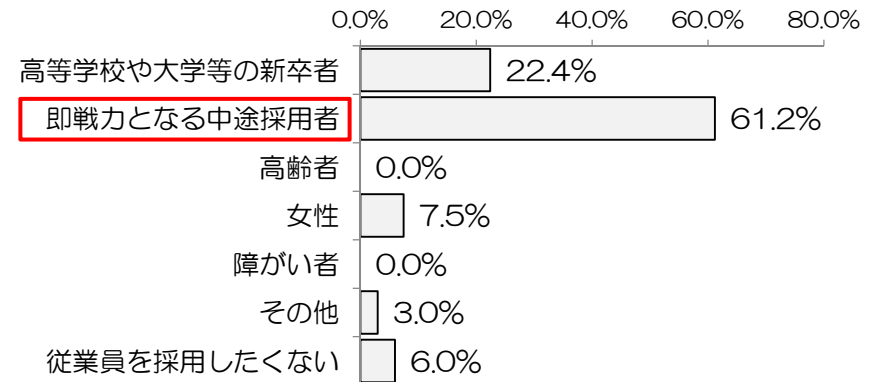
【問13-2】 減員予定人数の内訳 [SA](問13で「今後従業員を減らしていく予定である」を選択した方のみ回答)

回答者なし

【問14】 採用したい従業員の属性 [SA]

	実数	割合
高等学校や大学等の新卒者	15	22.4%
即戦力となる中途採用者	41	61.2%
高齢者		0.0%
女性	5	7.5%
障がい者		0.0%
その他	2	3.0%
従業員を採用したくない	4	6.0%
合計	67	100.0%

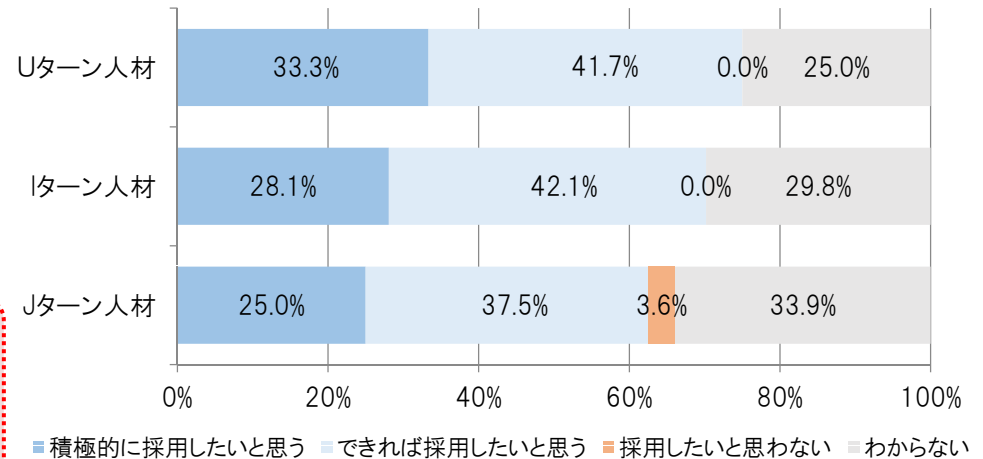
・ 即戦力となる中途採用者が61.2%で最も高くなっている。



【問15】 Uターン人材について [SA](問14で「従業員を採用したくない」以外を選択した方のみ回答)

	Uターン人材	Iターン人材	Jターン人材
積極的に採用したいと思う	20	16	14
できれば採用したいと思う	25	24	21
採用したいと思わない	0	0	2
わからない	15	17	19
合計	60	57	56

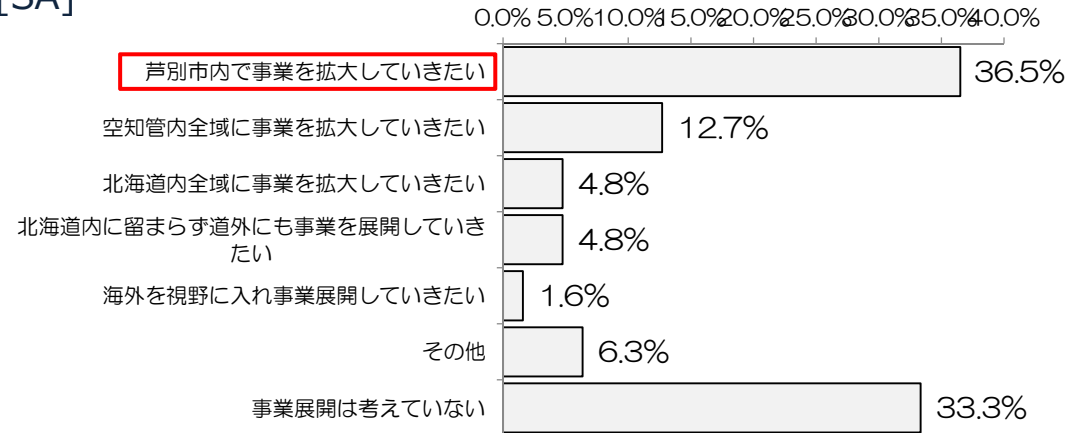
・ 全体として採用したいと思わないという回答割合は低く、概ねU・I・Jターン者の受入意向は高くなっている。
 ・ 特にUターン人材について、積極的に採用したいと思う、できれば採用したいと思うの合算は75.0%で、最も採用の意向が高くなっている。



【問16】 どのような地域で事業展開したいか [SA]

	実数	割合
芦別市内で事業を拡大していきたい	23	36.5%
空知管内全域に事業を拡大していきたい	8	12.7%
北海道内全域に事業を拡大していきたい	3	4.8%
北海道内に留まらず道外にも事業を展開していきたい	3	4.8%
海外を視野に入れ事業展開していきたい	1	1.6%
その他	4	6.3%
事業展開は考えていない	21	33.3%
合計	63	100.0%

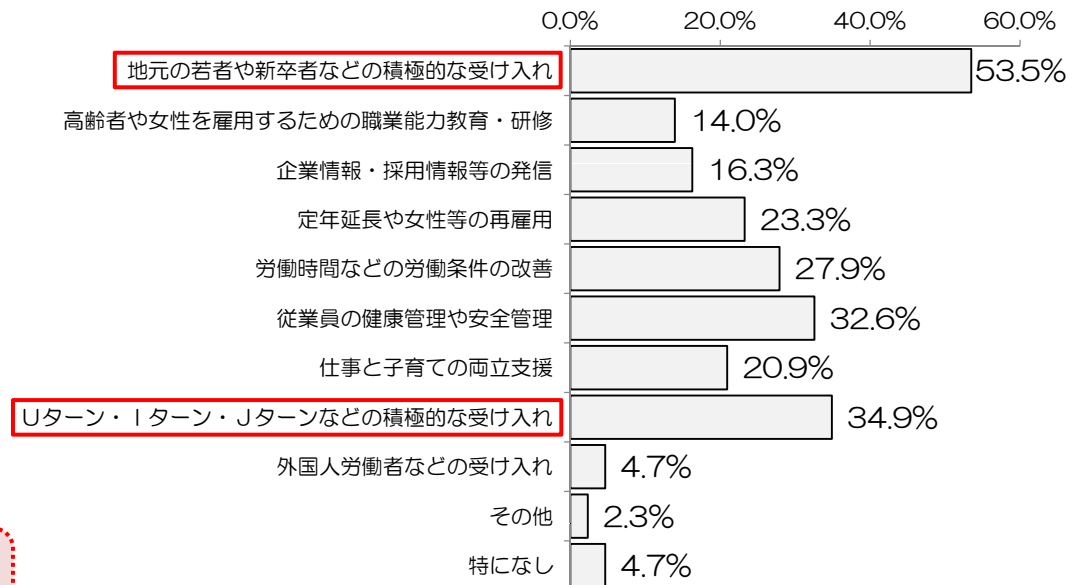
・芦別市内で事業を拡大していきたいが36.5%と最も高くなっている。



【問17】 今後、事業展開をする上で、重要となる雇用環境 [MA] (問16で「事業展開は考えていない」以外を選択した方のみ回答)

	実数	割合
地元の若者や新卒者などの積極的な受け入れ	23	53.5%
高齢者や女性を雇用するための職業能力教育・研修	6	14.0%
企業情報・採用情報等の発信	7	16.3%
定年延長や女性等の再雇用	10	23.3%
労働時間などの労働条件の改善	12	27.9%
従業員の健康管理や安全管理	14	32.6%
仕事と子育ての両立支援	9	20.9%
Uターン・Iターン・Jターンなどの積極的な受け入れ	15	34.9%
外国人労働者などの受け入れ	2	4.7%
その他	1	2.3%
特になし	2	4.7%
合計	101	234.9%
母数	43	

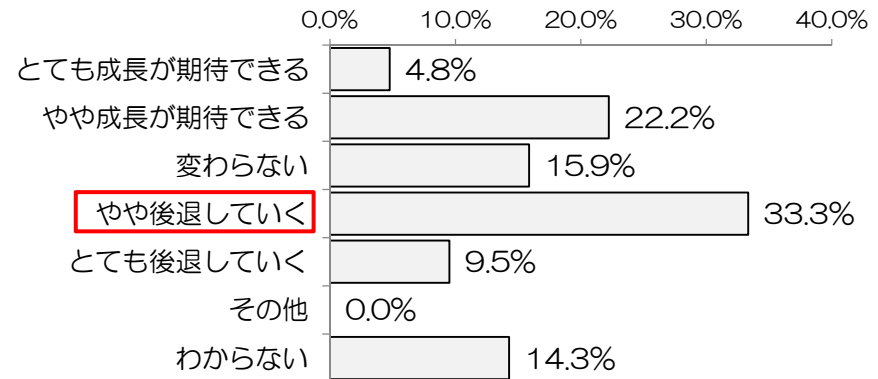
・地元の若者や新卒者などの積極的な受け入れが53.5%で最も高く、次いで、Uターン・Iターン・Jターンなどの積極的な受け入れが高くなっている。



【問18】 事業所経営の今後の見通し [SA]

	実数	割合
とても成長が期待できる	3	4.8%
やや成長が期待できる	14	22.2%
変わらない	10	15.9%
やや後退していく	21	33.3%
とても後退していく	6	9.5%
その他	0	0.0%
わからない	9	14.3%
合計	63	100.0%

・ やや後退していくが33.3%で最も高くなっている。



【問19】 問18の回答理由 [FA]

「とても成長が期待できる」回答理由
自分達だけでなく、周りの多くの方からの暖かい協力を得ているため
人口減により
「とても成長が期待できる」回答理由
会社としての意欲、積極性。
取引先が年々増えている。内容も改善されている。
新規の客先が増えつつある
成長するもしないも、すべては人材次第。仕事はあるのだが人がいない。若い人材も採用したいのですが、5名中4名が続かず辞めていく。技術職なので仕事を覚えたら長く安定した収入が期待ができるのだが…。私の会社は、芦別市の社長さん達の中でも若い会社で若い社長なので今後長く営業して行く予定です。
長期借入金残高を確実に返済しているため、資金調達がし易い点、社内の問題点を改善し成果が見て取れる点、設備投資を毎年している点。
当社は建築一本で経営しており(土木はしていない)市内でも建設業においては歴史に実績は十分であるが、一番の悩みは後継者、高齢化、作業員不足(適任者)の悩みである。これらの問題が解消されれば今後更に成長が期待されると思われる。
道外を考えている
「変わらない」回答理由
市政動向の変化と人材育成の協力体制が一致されず、企業進展の計画と行政推進の歩みが相当変動が見られ、総合計画の構図と各企業方針が相容れられていないと感じる。現在国が地方創世に重点を置いている観点からすると地方での企画廃案に支援力を注ぎ国家権力を持って協力してくれる地域発展を望むと言われていることは、地方構想を期待している事と思われることから、近況の状況の中から事業体としての経営の変化が望まれるものとは思われないと考える。
納品先が固定しているため
福祉サービスの需要は、徐々に求められ拡大や成長が必要と思います。サービスの内容と利用の変化に伴い、関わりが増えれば手数も必要な状況ではありますが、人口減少を止めるのは難しいので変わらないと答えました。「芦別だから出来ること、やりたいこと」がなければ集まらないですね。アイデアが出ません。

【問19】 問18の回答理由 [FA]

「やや後退していく」回答理由
芦別の人口が減っていくから
若い従業員を入れるとそれだけ賃金を上げなければならず、それに事業が追いつかないと思います。会社が立ち行かないと思うと、会社をやるのかやめるのか迷っています
将来に繋がる企業が少なすぎる。
人口の減少。高齢化の為。
人口減(2名)
人口減(自然)
人口減、高齢化(2名)
人口減が続く中、売上げ当然下がっていく
人口減少
人口減少、若年層減少による需要減。
人口減少にともない、町の活気が年々なく来店客数の減少顧客の高齢化による、常連客の移転、死亡などによる売り上げ減少、売上げ減少の為の給与等、資金、経費などの削減、設備投資をしたくても資金操りの予定が立てられない、中小の景気は、まだまだ難しいと思います。せめて地元業者(店舗)を意識して利用してくれないと、年々店舗数も激減し、活気のない町になります。何か商店街、駅の整備、人の流れ活気を意識して、芦別市に人が集まるよう、考えてはならないと思います。
人口減少により売り上げは低下するでしょう。
人口減少による消費減、及び競合店の進出による競争
世帯数の減少による顧客数の減(売上高の減少)
当事業所は幼児を扱う所ですが、年々芦別市の出生率の低下もあり、少子化問題に直面していく傾向は避けられないと思います。
公共事業の減少、市内店舗の相次閉店等
平成18年度に米政策の転換が予定されているが、米づくりのあり方が大きな曲がり角になるだろう。芦別市は米づくり農業主体の農業であるが、後継者もなく、又30～50代の規模も安定経営にならない。現在の水稻経営は、この規模が伸びるかどうかに掛っている。(家族農業の限界、設備投資の悩み、雇用労働の確保など)米の消費減少は続く、価格は間違いなく下落、経営の下支えの動向不透明、規模拡大のチャレンジも難しい環境、畑作青果の特産品は生産する人が増え減少、芦別ブランドへのロットが少ない。(新城畑作地帯は壊滅するだろう)早急に農業者の個別聞き取りを実施すべし、その上に立って緊急に芦別農業の実態把握と将来の姿を行政も真剣になってほしい。関係者は現場の生の声を広く聞かなければ、施策、政策の発想が出ない。

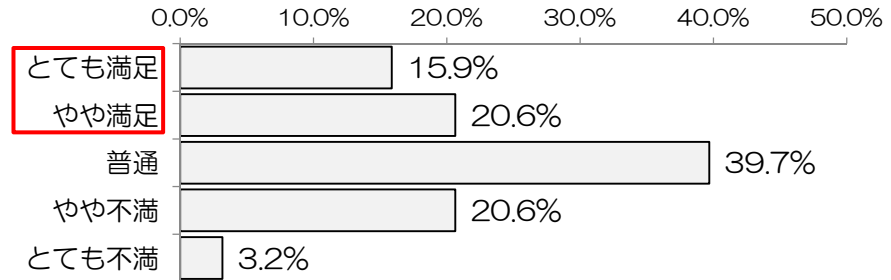
【問19】 問18の回答理由 [FA]

「とても後退していく」回答理由
事業主が高齢になるに連れ、廃業となる可能性が高い。
人口減
人口減に加えて商店農業関係の方が後継者がいなくて廃業が増えている。
人口減少＝利益の減少。年々利益は減少しているが、消費税の支払額は高額になっている。資金繰りが悪化している。
製造業と言っても小規模事業所のために民間(個人)の需要に頼る部分が多い為、人口の減少に伴う個人の消費意欲低下が事業基盤を揺るがせませす。人口が増加する背景が見えないじてんで経営の後退は避けられないと考えます。若い年齢層の家族が芦別市に生活基盤を置き、安心して子供達を育ててゆける町の創生と期待します。
地域、雇客の高齢化により、、ニーズの減少。
「わからない」回答理由
少子化、高齢者の為の人口減少が一番問題だと思います。

③ 事業環境に関する質問

【問20】 事業環境の満足度 [SA]

	実数	割合
とても満足	10	15.9%
やや満足	13	20.6%
普通	25	39.7%
やや不満	13	20.6%
とても不満	2	3.2%
合計	63	100.0%



・普通が39.7%で最も高いが、とても満足、やや満足の合算が36.5%に対して、やや不満、とても不満の合算は23.8%であり、全体的には比較的満足の傾向となっている。

【問21】 芦別市の各事業に対する満足度

	とても満足	やや満足	普通	やや不満	とても不満	合計
1) 高速（高規格）道路や国道など、道路網の整備	2	9	26	22	4	63
2) 公共交通の利便性（バスやJR）		3	15	29	18	65
3) 住宅地（団地）などの整備状況	1	12	37	12	3	65
4) 教育機関や文化施設の整備状況	2	7	32	20	4	65
5) 工業団地の造成状況	1	6	33	21	4	65
6) 光ファイバー網等の高速通信回線の整備状況	3	13	33	13	3	65
7) 再生可能エネルギーの導入状況	1	4	33	26	1	65
8) 大企業の立地や誘致状況		1	20	34	10	65
9) 中心市街地（商店街）の整備状況		1	15	36	13	65
10) 観光施設の立地状況		2	22	30	11	65
11) 自然環境やまちの衛生状況	3	13	36	10	2	64
12) 近隣市町村との交流や連携の状況		3	34	24	2	63

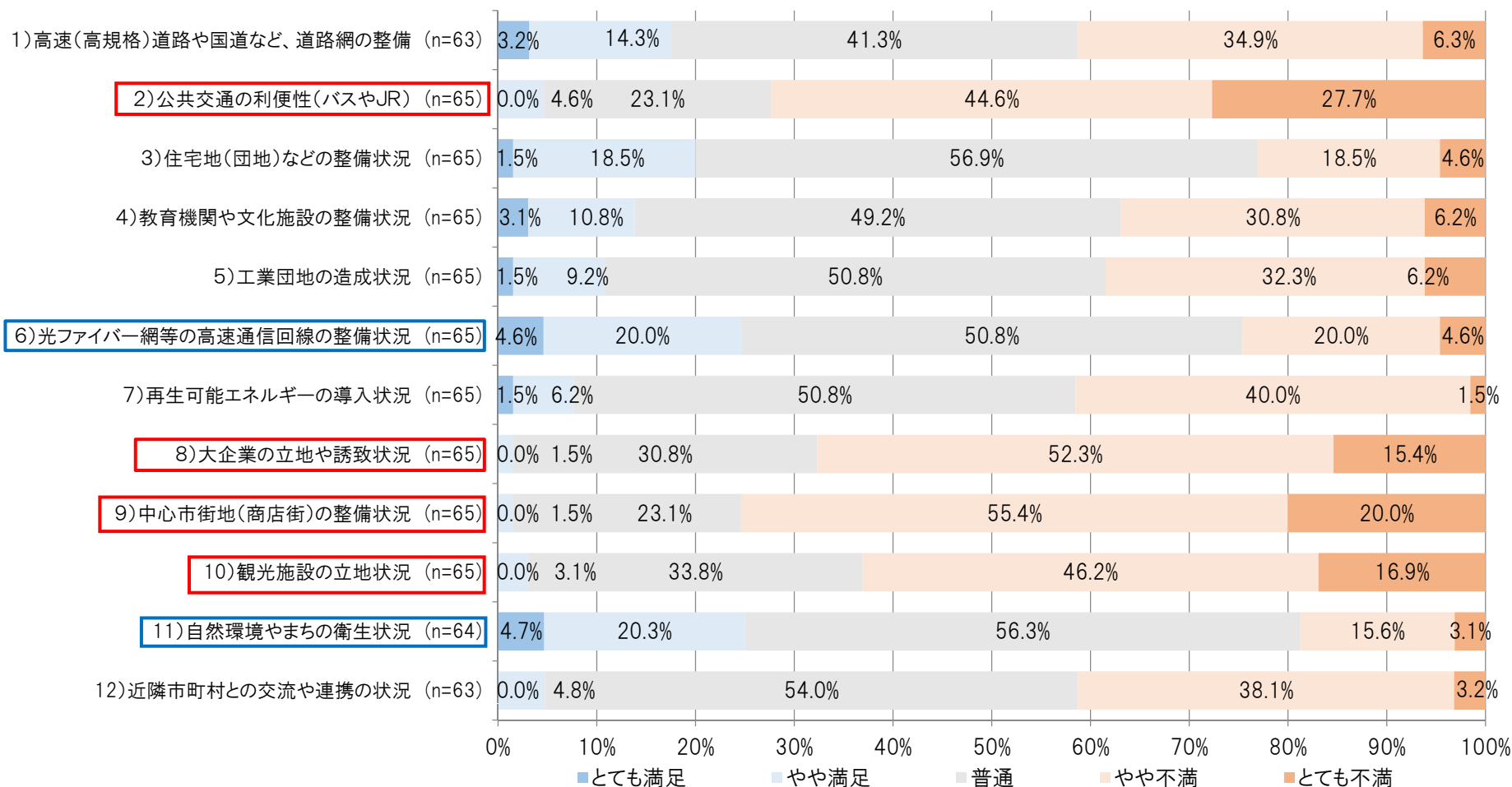
【問21】 芦別市の各事業に対する満足度

《満足度が比較的高い項目》※満足度：とても満足、やや満足の合算

- 6) 光ファイバー網等の高速通信回線の整備状況
- 11) 自然環境やまちの衛生状況

《不満度が特に高い項目》※不満度：とても不満、やや不満の合算

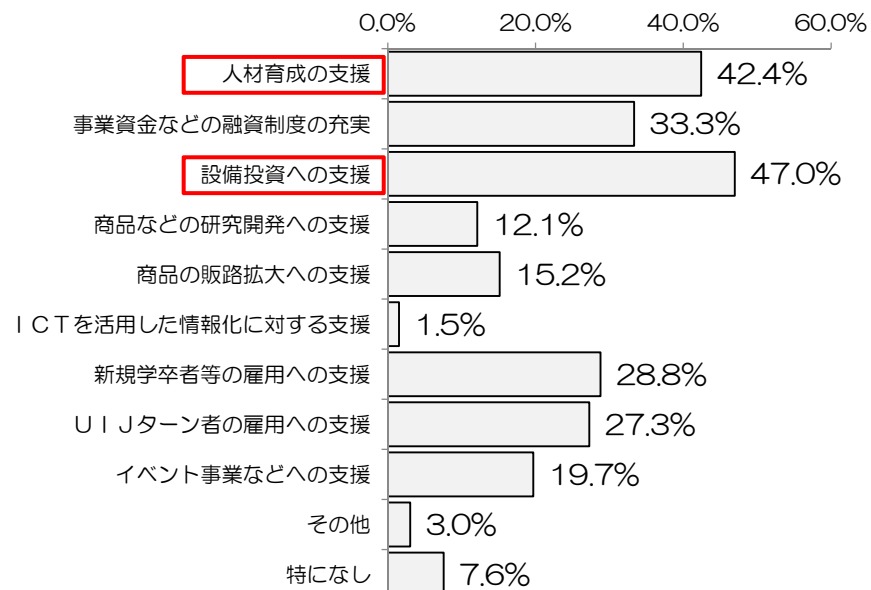
- 2) 公共交通の利便性（バスやJR）
- 8) 大企業の立地や誘致状況
- 9) 中心市街地（商店街）の整備状況
- 10) 観光施設の立地状況



【問22】 芦別市に期待する施策 [MA]

	実数	割合
人材育成の支援	28	42.4%
事業資金などの融資制度の充実	22	33.3%
設備投資への支援	31	47.0%
商品などの研究開発への支援	8	12.1%
商品の販路拡大への支援	10	15.2%
ICTを活用した情報化に対する支援	1	1.5%
新規卒業者等の雇用への支援	19	28.8%
UIJターナー者の雇用への支援	18	27.3%
イベント事業などへの支援	13	19.7%
その他	2	3.0%
特になし	5	7.6%
合計	157	237.9%
母数	66	

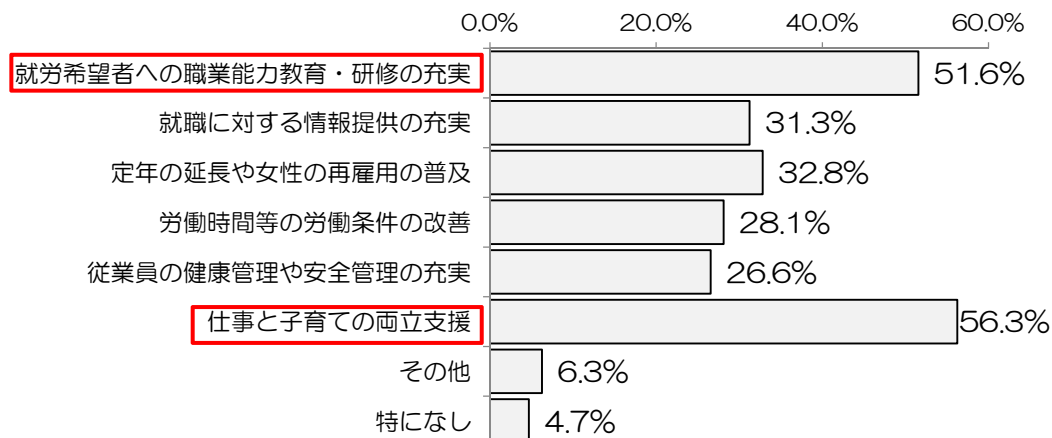
・設備投資への支援は47.0%で最も高く、次いで、人材育成の支援が高くなっている。



【問23】 必要な労働環境の整備 [MA]

	実数	割合
就労希望者への職業能力教育・研修の充実	33	51.6%
就職に対する情報提供の充実	20	31.3%
定年の延長や女性の再雇用の普及	21	32.8%
労働時間等の労働条件の改善	18	28.1%
従業員の健康管理や安全管理の充実	17	26.6%
仕事と子育ての両立支援	36	56.3%
その他	4	6.3%
特になし	3	4.7%
合計	152	237.5%
母数	64	100.0%

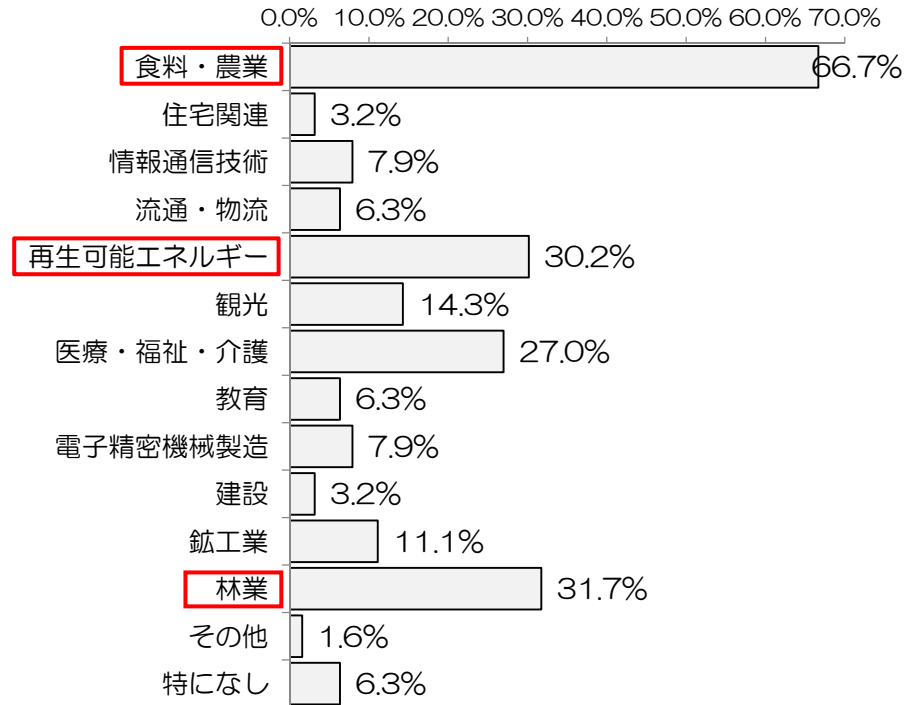
・仕事と子育ての両立支援が56.3%で最も高く、次いで、就労希望者への職業能力教育・研修の充実が高くなっている。



【問24】 今後期待できそうな産業分野 [MA]

	実数	割合
食料・農業	42	66.7%
住宅関連	2	3.2%
情報通信技術	5	7.9%
流通・物流	4	6.3%
再生可能エネルギー	19	30.2%
観光	9	14.3%
医療・福祉・介護	17	27.0%
教育	4	6.3%
電子精密機械製造	5	7.9%
建設	2	3.2%
鉱工業	7	11.1%
林業	20	31.7%
その他	1	1.6%
特になし	4	6.3%
合計	141	223.8%
	母数	63

・食料・農業が66.7%で最も高く、次いで林業、再生可能エネルギーが高くなっている。



【問25】雇用増加のアイデア [FA]

具体的なアイデア
<p>芦別の建設会社は昔から企業同士仲が悪い。市が中心となり交流の場を作って欲しい。もっとお互い情報交換が必要だと思います。再生可能エネルギーには、もっと着目すべきです。元芦別出身の国会議員さんの力も借りてもっと一次産業に力を入れるべきです。仕事があれば金が働き、金があれば町に金が落ちるし、人も集まる。お祭りに力を入れてますが、あまりにも祭りが多い。これぞ芦別！！というインパクトの強い祭りがあれば、地方に芦別の存在がアピール出来るのではないか。芦別に残って仕事をしてくれる若者には、市でスキルアップの為の費用だしてもらいたいし、一人前になる間の一部支援は必要だと思います。約3年くらいは！市長に期待しています。</p>
<p>芦別の石炭を考える(大規模な露天風呂)</p>
<p>医療の充実、患者さんへの対応の仕方を協力してもらえると、市民の方々も市立病院み行くようになると思います。外部からの力を借りた方が良くと思います。</p>
<p>何か一つ町のなにかとして特化した物が必要。一点集中突破。例えば、木や森をテーマにとことんこだわった事業を官民(民主体が好ましい)一体とまってまず小さく起こし、一貫して深化させたものを作り上げていく。そこで町としてのアイデンティティをしっかりと確立できれば住民も意識もかわり我が町に誇りが持てるようになる。今はそれが無い。それが、根幹を成すようになれば、自然と根葉もつき周辺産業にも好影響が広がっていくのではないか。環境がよい、空気がいい、空がキレイ、個性的なカフェ、工房、キーワードとすれば「環境、自然エネルギー」でしょうか。</p>
<p>夏はなまこ山スポーツ施設、冬は国設スキー場を利用したスポーツ合宿、修学旅行を誘致するための合宿施設。そこでは地産、地消を基本に地元の食材を使用する。</p>
<p>基幹産業が元々生産産業であったことから、資源を利用しての生産産業を進展させると事に目を向けることが最大の視点ではないかと考えられる。自然資源と山林資源を具体的に利用した事業を進展させると事で、雇用を生み出す手がかりとなると考えている。</p>
<p>既在の企業事業所への行政サービスの充実。各産業分野への行政サービス情報の伝達及び公共事業等の情報伝達。芦別市内で働く労働者への助成。芦別市内の地域産業を子供達に知ってもらえるような教育の充実。芦別市全域を考えた活性化。</p>
<p>教育環境の充実。小中高、一貫教育、質の向上→住宅などの空き家利用。自然増の人口、市として何が出来るのか。</p>
<p>建設業において言えば、市内企業は全体を見ても職員技術者、技能作業員、いずれも最小規模で他市の企業と競争。</p>
<p>現状維持</p>
<p>雇甲者数を増やすための企業設置、住宅設置。</p>
<p>光回線、無線回線の環境が悪い。人口減の中、外価(市外)からの仕事、金が入るようにする。</p>
<p>公務員(市職員)が市内で買い物しないようではダメ。</p>
<p>高齢層と若年層の共通項は子供の育成と考えます。幼児教育一貫教育などによる優秀な人材の育成、子供を安心して預けられる環境作りにより若年層への子育て支援、教育格差是生対策への投資が重要だと思います。施設の建設や補助金、助成金の配布などでは、結果責任が見えてきません。芦別市独自の学区の創生を考えるべきだと思います。</p>

【問25】雇用増加のアイデア [FA]

再生可能エネルギーを使った電力の供給。
市や振興公社が行っている事業を民間会社へ業務委託するべきと考える。そうすることでサービスの向上観光客の満足度が増す
若者世代が安心して子育てできる環境。若者世代が安心して働ける雇用の場。
従業員満足度を常に気にかけています。
食産業(生産、販売)を全市一丸となって展開(6次化)それにより若年層の雇用、生産額の向上をはかる。机上の空論にならぬよう、まずはチャレンジ。失敗を恐れずに。
新卒者の雇用の確保。企業誘致。
人口を増やすこと。企業の誘致。
人口減少に歯止めを。工場、老人ホーム、自衛隊若い人の人口流失を押さえる。刑務所、大学などを誘致する。
人口減少や高齢者を改善出来るような若い人の集まる町であればと思いますが、具体案になると難しく考えつかない。企業誘致が芦別の広い土地を生かす人口を増加させる為には良い方法かとも思いますが、条件などの具体的な事が分からないので安易すぎる考えかもしれません。
大企業の誘致などをして、人口減少を防ぐ。
大規模農業の実現の為、雇用は絶対必要。一方労賃コストは上昇しており何らかの支援必要。又、設備投資に対する補助制度は誠にお粗末。昔の個人業者への補助のまま、大規模経営に対応が出来ていない。産業振興の為に幅広く現場の声を聞くべき。その中から芦別農業の30年50年の展望が拓ける。農業者は勿論、各関係団体のリーダー、市当局の方々などどんな議論をし、どのように芦別農業を築き目標づくりをしているのか現場まで何一つ届いていない。
地域の中で、才能ある知識ある人材の協力を得て、技能取得指導などを出来る環境の場を作り、指導していくなど、埋もれている人材探しをしたらどうでしょう。温故知新の言葉の意味通り、素に戻る事から始めては。
地元の企業を延ばす行動。地元で購買する運動等の推進。
中小の企業や店舗を誘致、そのために芦別市も積極的に土地利用等を情報や呼びかけを発信してってください。人が集まらないと話にならない。みんなでアイデア出し合いましょう。芦別は比較的、災害の少ない地域です。そこを強みに、企業誘致を積極的にしたじょうが良いと思う。働く場がないと人はどんどん減少とまりません。
農業、木材、林業を中心とした農林業学校の設備のプロジェクトを立ち上げる計画があり、市も協力してもらい、ぜひ実現させてほしい。
病院の充実や介護施設を充実させて、雇用の場を増やして若い人も老人も芦別に住めるようにした方が良い。雇用の場が少なかったり、健康じゃなくなると市街に出て行ってしまう。ふるさと納税等で外から税金入るようにして、市内の人の負担を減らして住みやすくなった方がいいかな。市外と比べて水道代など高い負担があるようなので。
民生で生活している人の雇用に対して企業に助成を出し民生の予算を削除する。
有能な人材が必要であるが、今の市政には期待が持てずアイデアさえ浮かびません。申し訳ありません。
林業の活性化。芦別市に在住者(独身者)に対する婚活機会の経営。